



恋の場外乱闘

30歳目前。もう手段は選ばない。恋愛成就を求めて奔走する、覆面ライターの願末は…

猫でも恋する、今は春。女性誌には軒並み恋のハウトゥーがいっぱい。「アナタの恋愛はこんなに重なる!」「女の崖っぷち度チェック」…。ええい、恋にマニュアルなんてあるかーい! とはいえ、激しく気になったのよ。

ああっ、恋する心理学 編



耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、意を決してまとめて三冊、本屋のレジに運ぶアタシ。その雑誌の表紙には「男運」「恋愛」「悩み」などダイレクトなワードが並び、「どんな人格検査やねん?」なんて思わないでね、本屋のおねーさん。アタシはただ恋がしたいだけ…。



鼻息も荒く、ページを開く。この手の雑誌でなんといっても楽しいのが、「チェックリスト」とか「心理テスト」の類。手始めに「最近のストレス度」ってな項目をばチェック。結果「ストレス皆無の平和ボケ」だって。恋に不器用な28歳。(心は)乙女なのさよ…。



身もフタもない結果はさらに続く。「自分がどう見られているか」というフローチャートでは、私は「オフィスの幽霊」で、「嫌われてもいいが、慕われてもいいない」。「女の崖っぷち度」では、すでに女を放棄した「お隣の末期」だって。し、信じねえーぞっ!



でも深層心理では「甘えたのゴロニャンタイプ」で、求めている男性は「金回りのいい男」。もうなんだかよく分からん。雑誌を買う前よりも悩みが増えた気がするのさぜ? ま、とりあえず紙面を借りて訴えておこう。礼ヒラアタシを置いてくれるヒト、いますか?

厳選天然素材&漢方生薬のありがた〜いスープで、化学物質漬け現代人の救世主となつた吉翔、アトピーや風邪をも治す効果も、熱で仕事を休んでも車を飛ばして駆け込む客は枚挙に暇がないという。この雑炊もまた、ある弱った体が産んだ逸品。喉が腫れてものが噛めず、それでもスープだけを飲みに来た客の心意気・そんな体になんとかお救いをと考えた大將の心尽くしなのだ。スープにネギと茗荷、小鍋でくつくつ卵でとしたり、トッピングは生薬と梅干しの共演に舞う胡麻吹雪、ホカホカじんわりの雑炊で、早く元気になってネなんて、うっつ、泣かせる話! 食べは食べたで泣かせるっす! 大將自身もラーメンよりお気に入りとか。

医者よりの頼れる、五臓六腑の守り神



御雑炊
800円



●らーめん道場 吉翔
らーめんどうじょうきっしょう
京都市上京区今出川大宮上ル二筋目西入ル
桃園ハイツ1F ☎090-2045-1735
●11:30~14:30 17:30~24:00/日休
(先り切れる場合もあり)



こんなんありました

裏メニュー

「基本的に病気の人の用いスペシャル。あとはヒマな時が、待つ余裕のある時だけに頼んでね」とご主人

I am a みやげマニア!!

100年後にも残したい 京都みやげファイル

販電サブレ (14個入・500円) の販売場所は、叡山電鉄出町柳駅、修学院駅、鞍馬駅、貴船駅売店のみ。

●問い合わせ先 叡山電鉄株式会社 鉄道部営業課 ☎075-781-5121

販電サブレ

販電ご自慢。パノラマ電車と一緒に育った浴限定サブレ

赤いフォルムに取っ手付き、見ればさらさらと名付けられた電車型。お子様ならきっと喜ぶこのパッケージを開ければ、ほら出た出た販電サブレ。街では見かけないこの商品、それもそのはず、出町柳から鞍馬や八瀬方面を運行する叡山電鉄の一部の駅でしか購入できないレア物なのだ。そして箱に化けているさらさらは、平成9年秋に誕生した出町柳〜鞍馬間を走るパノラマ電車。その誕生と同時に50000個限定で発売したつもりが、2ヶ月足らずで完売! いつの間にかやら定価商品と化してしまつた居直りモンだ。あって、密かな実力者。サブレのソフトで軽い食感+やさしいミルク味にリピーターは多数。ローカル線だからって見くびってはならない逸品なのだ。

耳かき (400円)、携帯ストラップ、スウィング (吸盤付きアクセサリ)、キーホルダー (各500円) は、昨年発売の新グッズ

風とりどり@Kyoto

リニア→「ごもてんか」

ボツた「リ」

今月も知られざる京都の姿に挑む尻取り探索隊 (コードネーム: ASS HOLE)。今回の案件は京都が世界に誇る清水焼の町、五条坂だ! 京阪五条駅を東へ歩くこと5分、大和大路の角に「五條坂」の碑を確認。さてこの地が一年で最も賑わうのは8月10日頃。そう、世に名高い「陶器市」。五条通を挟んだ歩道にびっしり立ち並ぶ、全国各地の陶器を並べた屋台・屋台・屋台…。うつわ好きにはバラダイス!! と思いきや、南国もマツアオの京熱帯は真っ盛り…。じりじり容赦ない太陽と立ちのぼる陽炎に、もーダメと棄権しちゃったトラウマを持つ君よ、実は春にもミニ陶器市があったのをご存知か? 場所は五条坂から南へ移り、京女ギャルの溢れる女坂付近。幼稚園脇の小さな道に、今熊野の窯元がござって自慢のうつわを並べる祭は4月の第一土日。春うらら、花見がオマケについでくるこの贅沢。知る人ぞ知る陶器まつり、見に行く価値は十分でしょう。

「御幸町」は巻頭特集、大判焼の「御座候」は大阪モンだし。そんな中、最終候補の対抗馬は「ゴミ回収」。京都は他の自治体に比べ分別がテキトーだ、環境対策の意識が低い…という悪口雑言はよく聞かぬが、実はまとめて一度に焼却する方がダイオキシン発生率が低いなどの利点もあるとか。ゴミは減らずに越したことはないけどね。